

北米市場における兵庫の酒の展開

兵庫県ワシントン州事務所 所長 池上 卓久

日本酒の国内及び海外の消費動向

日本酒は古来から祝い事や季節の行事、食習慣と深く結びついた日本文化を象徴するものの一つですが、国内消費は長期的に減少傾向が続き、国税庁の調査によると、1970年代は年間消費量が150万klを超えていましたが、2000年に約98万klとなり、2023年には約39万klと、約50年間で約70%以上減少しています。

一方、海外では和食のユネスコ無形文化遺産登録(2013年)等、和食ブームが広がってきたこともあり、2010年代後半から日本酒の海外人気が高まり、財務省通関統計によると、2015年には輸出額約140億円、輸出量1.8万klだったものが、2024年にはそれぞれ約435億円(約210%増)、3.1万kl(約70%増)と、10年間で大幅に増加しています。

北米の日本酒市場

その中でも、北米(米国・カナダ)は日本酒の世界的な主要市場で、和食人気と高付加価値志向に加え、発信力の高いメディア環境等を通じて日本酒のブランド価値を国際的に高めることができる重要な地域と言えます。

まず、世界最大の経済大国である米国向けについては、2024年の輸出額約114億円、輸出量約0.8万klと、それぞれ全世界の約25%を占めており、輸出量は国・地域別で中国向け(約0.5万kl)を抜いて世界第1位となっています。

カナダ向けは、2024年の輸出額約9億円、輸出量約0.1万klと、米国に比べると見劣りはするものの、人口が約8分の1である点を考慮すると、一人あたりに換算した場合は遜色がないとも言え、輸出量では世界第6位に位置しています。

また、成長性から見ても、2024年における米国への輸出額及び輸出量は約25%増と高い増加率を示しており、カナダに至ってはいずれも約38%増で、これは上位10

力国・地域では第1位となり、30%越えは同国のみという驚異的な伸びを記録しています。

日本酒(清酒)の輸出額・量(2024年)

項目		米国	カナダ
輸出額	金額	約114億円	約9億円
	順位	第2位	第7位
	前年比	約26%増	約38%増
輸出量	数量	約0.8万kl	約0.1万kl
	順位	第1位	第6位
	前年比	約23%増	約38%増

(出典: 財務省通関統計)

兵庫の酒のプロモーション

日本酒生産量で全国シェア約30%を占める兵庫県にとっても、北米は重要な市場となっています。例えば、当事務所が把握しているだけでも、県内66の酒蔵のうち約20が既に米国に進出しているほか、アメリカに工場を設け、数十年に渡り現地生産を行っている県内酒造メーカ

ーもあり、米国西海岸の日系人を中心に長年愛飲されています。

こうしたなか、当事務所は県内の酒造メーカーと連携し、米国にて日本祭をはじめとした各種イベントへの兵庫の酒試飲ブース出展等のプロモーションを行っています。日本酒に興味があっても、日系スーパー、和食レスト



米国・シアトル近郊の和食レストランで実施した試飲イベント【筆者撮影】

ラン、インターネット等では数多くの銘柄があり、何を購入したらよいか分からないという消費者が多く、実際に味わっていただくことで、効果的なPRに繋がっていると感じています。

また、米国の方はストーリー性のあるものを好む傾向があり、豊かな自然が育む酒米の王様・山田錦、独特の地形が生み出す・宮水、長年受け継がれる丹波杜氏の技術等によって兵庫県が日本酒の名産地になったことを説明すると、文化面も含めて関心を示す方が多く、実際に産地を訪問したいという声も聞かれ、インバウンド誘致にも寄与しています。

カナダについても、ブリティッシュ・コロンビア州(BC州)で開催されたバンクーバー酒フェスに今年度初めて出展。BC州未進出の銘柄を提供したため、州政府の規制によりBtoCセッションには参加できなかったものの、BtoBセッションでは、レストラン関係者から「どの銘柄も大変美味しいので、BC州での販売が決まったら是非連絡してほしい」、輸入事業者からは「取扱いを検討したい」といった意見がある等、大変好評でした。



バンクーバー酒フェス(同イベント内のセミナーで紹介された兵庫の酒)【筆者撮影】

以上のとおり、日本酒を取り巻く環境は国内では厳しい状況が続く一方、海外、とりわけ北米市場においては着実かつ力強い成長を示しています。当事務所としては、今後も県内酒造メーカー等と連携し、試飲を通じた体験型プロモーションや、兵庫の酒が育まれてきた風土・歴史・技術といったストーリー性を重視した情報発信を継続することで、認知度向上と販路拡大を図るとともに、産地の紹介等を通じたインバウンド誘致にもつなげていきたいと思っています。

ひょうご海外ビジネスセンターは、兵庫県が世界3か所に設置する兵庫県海外事務所と連携して、県内企業の海外ビジネス展開を支援しています。
本通信は、各海外事務所から寄せられる現地トピックスをお届けするものです。

【発行 公益財団法人ひょうご産業活性化センター ひょうご海外ビジネスセンター】